

すみや亀峰菴のリノベーション情報



京都亀岡の老舗旅館「すみや亀峰菴」（株式会社すみや亀峰菴 代表取締役 山田智さん）情報を入手した。それは、コロナ禍における同館の大規模リノベーション「現代アートと伝統の技が織りなす稀有な空間」という、大胆且つ意表を突く老舗旅館の秘策である。

第1期工事では、200平米のロビー&ギャラリーが完成し、4月26日からリニューアルオープンしている。また、第2期工事では、現代アートが体感できる140平米の特別宿泊室が、来年春頃には完成予定。



今回の、大規模リノベーションでは、現代美術家 柳幸典氏とのコラボによるもの。その特徴は、同氏が京丹波に在住する日本屈指の職人たちとともに、「現代アートと伝統の技が織りなす稀有な空間」の創造にある。

同館へは、過去において数回足を運び入れた事があるが、一言で印象を語れば、和の文化と伝統を受け継ぐお洒落な宿。各施設も拡充しており、お客への心遣いが徹底され、すこぶる心地よい宿として記憶に刻まれている。

現在、世界的なコロナ禍により、全国各地の観光施設など、特に老舗が次々に廃業を強いられている中、同館の意表を突く戦略は、国内の宿にも大きな影響、元気を与え、何らかのヒントになりはしないかと考える次第。

▼同館プレスリリースより抜粋



同館のロビーのリニューアルは長年の課題であった。過去において、2007年に京都のおくどさんのある台所「走りもと」を再現したダイニング、松のなぐりの床や唐紙を施した露天風呂付客室（5室）、竹木舞の茶室など、日本の匠の技を取り入れ改装を行っている。



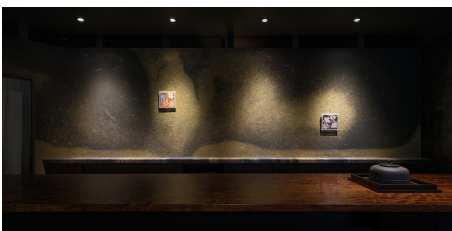
今回は、次なる一手として、世界的に活躍する現代美術家 柳幸典氏にロビー&ギャラリーを託し、旅館業への固定観念に縛られず、常に新しさや意外性を取り込み、旅館の在り方や価値とは何かを、とことん追求して参りたい。

旅館と現代アートがコラボすることで、過去・現在・未来と伝統の魅せ場を演出し、これまでのお客様は勿論のこと、様々な方々に新しいコンセプトの旅館を楽しんで頂くべく「主客ともに楽しむ」旅館を目指したい。

<https://www.sumiya.ne.jp/blog/14926.html>

<すみや亀峰菴>

1955年京都府亀岡市に「湯の花温泉」の看板を掲げ、旅館を創業。ジョン・レノンとオノ・ヨーコ、松田優作なども宿泊している宿。尚、山田家の先祖は、約600年前から同地に住んでおり、又、本能寺の変後に明智光秀は同地に足を運び入れている。



すみや亀峰菴

〒621-0036 京都府亀岡市稗田野町柿花宮ノ奥25番地
 京都駅からJR嵯峨野線 亀岡駅下車 車で15分程度
 電話：0771-22-7722
<https://www.sumiya.ne.jp/>

文責：西田親生